

韓国では海女のことをヘニヨと呼びます。今年のヘニヨ祭に参加するため答志、相差、志摩の海女さんたちとともに、総勢13名で韓国、チェジュ島を訪れました。大変、盛大なまつりで、ヘニヨたちの数の多さと、そのパワーの凄さに圧倒されるようでした。

現在、日本の国には約2,000人の海女が働いていると言われています。そのうち、半数にあたる約1,000名が鳥羽市と志摩市に住んでいます。しかしこのチェジュ島には約3,000人のヘニヨたちがいて、その存在感はとも大きいものがあります。

10月15日に行われたまつりの第1日目は、朝10時のパレードに始まり、式典、実演、海女演劇、それに海女たき火歌

謡祭などが夜7時頃まで続き、会場を埋めたヘニヨたちがのりにのって、会場をあとにすることがなく、大いに盛り上がっていました。また地区ごとの漁協対抗戦のある浮き輪水泳大会は、地区による熱狂的な応援合戦となりました。

チェジュ島は対日感情も非常に良く、治安も良いようです。美しい自然に恵まれ、ゴミも少なく、経済的にも豊かなところでありました。中央に韓国一の高山(ハルラサン)がそびえ、周りをドーナツ状に平地が広がっています。空から見ると農地には驚くほど多くのビニールハウスがあり、みかんやトマトなど野菜作りが盛大に行われています。火山でできた島ですので、どこへ行っても、黒い溶岩や

黒い土を見ることができ、建物や建築材料としても、この溶岩が多く使われています。

今回の訪問では、夜10時近くまでチェジュのみなさんによる歓迎会が続きました。朝ホテルを出てから14時間程度のかなり強硬的な日程となりましたが、その熱心な歓迎ぶりには頭の下がる思いがありました。これまでに日本と韓国の関係は「近くて遠い国」という表現が使われてきました。アメリカやヨーロッパ、また他のアジアの国々を訪れると、日本車がたくさん走り回っています。しかし韓国ではほとんど日本車を見かけません。逆に日本で韓国車を見ることがあまりありません。

これまで日本と韓国の間で互いに敬遠しあうような雰囲気があつたと思います。

現地を訪れて、わたしたちが考えていたような排日的なムードではないということもわかりました。チェジュの人たちからはその歓迎ぶりから、海女文化をユネスコの文化遺産に登録するため、日韓協働してがんばってほしいという熱意が伝わってきました。

木田市長の

ど〜んと コミュニケーション

真珠のように輝くまちづくりのために

vol.72

チェジュ島ヘニヨまつり訪問記

### 千羽鶴に祈りを込めて



10月16日に開催されたひだまりフェスタにて、鳥羽市児童虐待防止ネットワークおよび鳥羽市人権擁護委員会による東日本復興の祈りを込めた千羽鶴の作成ブースが設けられました。ブースの設置時間は、約3時間と短い時間でしたが、こどもからお年寄りまで、たくさんのかたに鶴を折っていただくことができました。

ところで、みなさんは「千羽鶴」の由来をご存知でしょうか。

千羽鶴の始まりは、広島県の原子爆弾投下で被爆し、原爆症で死亡した少女が自らの延命を願って作ったのが始まりとされています。また、長寿



を祝う言葉として用いられる「鶴は千年、亀は万年」など、鶴は亀と共に長寿の象徴とされてきました。その長寿の象徴である鶴が千羽集まることで、長寿・健康・平和への願いが叶うとされてきました。

今回みなさんに折っていただいた鶴は、一つにまとめ、市から職員を派遣している南三陸町へ、被災地の一日も早い復興へのお祈りの思いと共に届けます。ご協力いただきありがとうございました。

そして、12月には、東日本大震災の被災者でもあり復興支援者でもあるかたを講師としてお招きし、人権講演会の開催を予定しています。詳細につきましては、12月1日号の広報とばでお知らせします。たくさんのかたの来場をお待ちしています。